

意外と知らない
クルマの
安全ガイド

点検・整備・取り扱い

[点検・整備・洗車時]

やけどや巻き込みなど
思わぬケガにご注意！

クルマを良い状態で使うには日ごろのメンテナンスが大事！
しかし、走ったあとにすぐエンジンルームを点検すると、熱かったり、ファンが回っていたりして危険。やけどや巻き込まれなどケガをするおそれがある。



！ 走行後すぐにエンジンルームの点検・整備はしない、洗車時も手袋をつけてケガ対策をしてください。

エンジンルームの中に、むやみに手を入れると手や衣服がベルトなどに巻き込まれたり、やけどをするおそれがありますのでご注意ください。

For Safety

安全のポイント



POINT 01

むやみにエンジンルームに手を入れない。

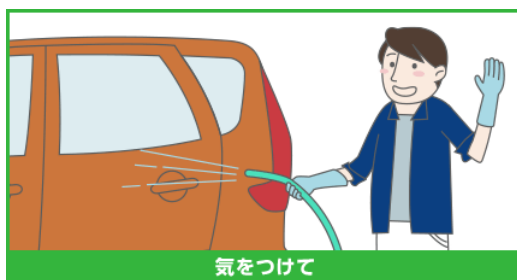
エンジン回転中のエンジンルームに手を入れると、ドライブベルトや冷却ファンなどに手や衣服を巻き込まれるおそれがあります。冷却ファンはクルマによってエンジンを止めていても作動することがありますのでご注意ください。
また、電気自動車やプラグインハイブリッドEVの場合、高電圧を発生する部品および高電圧の配線（オレンジ色）やそのコネクターの取り外し、分解などは絶対に行わないでください。感電など、命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。



POINT 02

エンジンルームの点検・整備時はやけどに注意。

エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。やけどをするおそれがありますので、各部が十分に冷えるのを待ってから点検してください。冷却水が熱い時は、ラジエーターキャップを外すと蒸気や熱湯が噴き出しやけどをするおそれがありますので、ラジエーターキャップは外さないでください。



POINT 03

下回り清掃時は手にけがをしないよう注意。

下回りやホイールを洗う時は厚手のゴム手袋などを装着して、手にけがをしないようご注意ください。

三菱自動車お客様相談センター

0120-324-860

オープン時間：9時～17時（土日祝・弊社休日 9時～12時・13時～17時）
※050～で始まる番号など、一部のIP電話からはつながらない場合がございます。